

令和 8年度予算見積調書

課室名：文化財・博物館課
 担当名：文化財活用・博物館担当／史跡・
 内線：6984 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P26	三次元モデルの導入による文化財活用事業			一般会計	教育費	社会教育費	文化財保護費	文化財管理指導費		
事業期間	令和 8年度～	根拠法令	文化財保護法・博物館法			針路	08 支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	4, 11	
						分野施策	0803 文化芸術の振興	SDGsターゲット	4-3, 4-7, 11-4, 11-5	
1 事業概要 デジタル技術を活用し、誰でも、どこからでも博物館資料を鑑賞することができるようにするとともに、デジタル三次元モデルの導入による新しい博物館サービスを提供し、県民の財産である文化財に関する理解を促し興味関心を高め、文化財保護の担い手を育みながら地域全体で文化財の適切な保存・継承を図る。 ア 博物館資料三次元モデル化事業 14,809千円 イ 文化財収蔵施設資料デジタル公開・三次元モデル化事業 6,006千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 博物館資料三次元モデル化事業 博物館資料の三次元モデルの作成・公開 29件 14,809千円 イ 文化財収蔵施設資料デジタル公開・三次元モデル化事業 文化財収蔵施設資料のデジタル公開と三次元モデルの作成・公開 483件・20件 6,006千円 (2) 事業計画 ア 県立博物館収蔵資料の三次元計測(三次元データの取得)と三次元モデルの作成・公開 イ 文化財収蔵施設収蔵資料のデジタル公開(写真)と三次元モデルの作成・公開 (3) 事業効果 作成した三次元モデルはインターネット上で一般公開することで、県民に地理的制約を受けない鑑賞を提供する。また、博物館で実物資料と三次元モデルをあわせて活用することで新たな鑑賞スタイルによる、新しい博物館サービスを提供する。加えて、オンライン授業の教材としても活用可能な資料を選定することで、学校との連携を強化する。 【活動指標(アウトプット)】 三次元モデルの作成・公開(博物館29件・文化財収蔵施設 20件) 収蔵資料のデジタル公開 (文化財収蔵施設 483件) 【成果指標(アウトカム)】 博物館利用者数の増加 (令和10年度:100万人)						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 デジタル活用推進事業債 充当率90% 交付税措置50%										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.1=10,450千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との対比
		県 債								
決定額	20,815	18,000						2,815	20,815	
前年額	0							0		

事業内訳書

事業名	三次元モデルの導入による文化財活用事業		
単位事業名	博物館資料三次元モデル化事業	予算額	14,809千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・	0	0	文化財デジタル活用推進事業債
県債・ 教育債	13,000	13,000	
一般財源	1,809	1,809	
合計	14,809	14,809	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	14,809	14,809	博物館資料三次元モデル化事業
合計	14,809	14,809	

単位事業名	文化財収蔵施設資料デジタル公開・三次元モデル化事業	予算額	6,006千円
-------	---------------------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・ 総務債	5,000	5,000	デジタル活用推進事業債
一般財源	1,006	1,006	
合計	6,006	6,006	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	6,006	6,006	文化財収蔵施設資料デジタル公開・三次元モデル化事業
合計	6,006	6,006	